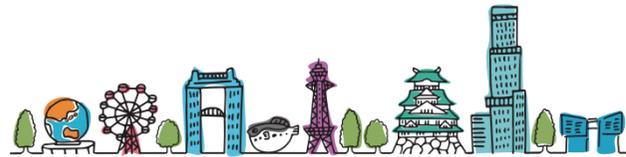


# 大阪府 福祉専門職の ご案内

「福祉」での色々な出会いは  
あなたの未来も鮮やかに  
彩ります



# COLORS

## いろんな人の毎日をいろどるお手伝い

「福祉」は「生きる」に寄り添うやりがいのあるお仕事です。

最新情報はココからチェック!



大阪府福祉専門職  
採用情報



大阪府職員採用  
選考案内



大阪府職員採用  
X



大阪府福祉専門職  
youtube



大阪府

大阪府福祉部福祉総務課  
総務・人事グループ

〒540-8570  
大阪市中央区大手前2丁目  
TEL. 06(6941)0351(内線:2443)  
FAX. 06(6944)6659

# どんな取組みをしているの？



地域の「子ども」「障がい者」等、

**困っている人**

**援護を要する人**

のニーズを把握し、専門的な支援を行い、  
**全ての人々が安心して暮らせる社会づくり**に  
日々、真摯に取り組んでいます。

働いている人は  
どのくらい？

**800人以上**

半分以上が **30代以下**

約 **7割が女性**

苦しい人が多い！

# 大阪府の「福祉専門職」は どんな仕事？

「生きづらさ」や「困りごと」を抱えた  
「人」に寄り添う  
やりがいのある仕事です

# どんな人が活躍しているの？

## 社会福祉職

相談機関では相談支援業務等を、  
社会福祉施設では生活支援業務等を行う仕事です。

- 活躍！  
こんな人が
- 大学で社会学や社会福祉学を専門に学んだ人
  - 大学で心理学や教育学を専門に学んだ人
  - 社会福祉士や精神保健福祉士等の国家資格を持っている人
  - 様々な福祉現場で働いた経験がある人

## 児童自立支援専門員職・児童生活支援員職

児童自立支援施設の寮において、  
子どもと生活を共にしながら、生活技術等の  
教育や指導にあたる仕事です。

仕事のイメージの詳細は  
**P.14**

## 心理職

相談機関では心理判定業務及び  
相談支援業務等を、社会福祉施設では  
生活支援業務等を行う仕事です。

- 活躍！  
こんな人が
- 大学で心理学を専門に学んだ人
  - 大学院で臨床心理を専攻していた人
  - 病院や学校等でカウンセラーとして働いた経験がある人
  - 公認心理師の国家資格を持っている人

# 働くには何をしたらいいの？

『大阪府職員採用選考』を受験してください。

公務員試験のための「特別な勉強」をしていない方でもチャレンジしやすい選考制度です。

詳細は大阪府HPをチェック



# 大阪府の福祉専門職の歴史は？

1948年より長きに渡り、大阪府の福祉専門職は、  
フロントランナーとして先駆的な取組みで  
日本の福祉をリードしています。

**1948年** 福祉専門職として「心理職」の採用がスタート

**1960年** 福祉専門職として「社会福祉職」の採用がスタート

以来、児童相談所の相談支援、府立施設の生活支援、郡部福祉事務所の生活保護事務など、福祉現場の支援業務の全てを福祉専門職が担ってきました。

**1971年** 福祉専門職の本庁への登用を開始

専門性の高さや現場で培った経験をもとに、福祉課題を整理して解決に導くための施策立案を担当し、成果を上げてきました。

# 配属先はどのあたり？

大阪府内の施設への  
配属となります。

配属先の詳細は  
次のページを  
チェック！

# 勤務時間や休暇は？

**相談機関** ● 日勤(午前9時～午後5時30分)  
※相談機関によっては、一部当直等の変則勤務があります。

**施設** ● 日勤(午前9時～午後5時30分)  
● 夜勤(午後4時45分～翌午前9時15分)  
※施設によって、勤務パターンは異なります。

土日祝日が勤務になることもありますが、その分の休みは必ず平日に割り振られます。  
休暇も年次休暇の他、特別休暇(夏期・結婚・出産)、介護休暇もあります。  
そのほか子育て支援制度もあるので、様々な人が働ける環境です。

勤務条件の詳細は  
**P.5**

## 社会福祉職

学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)または同等と認められる学校において、心理学・教育学・社会学(社会福祉学を含む)、またはこれらに相当する課程を修めて卒業した方(卒業見込みを含む)や、社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を有する方(取得見込みを含む)は試験を受けることができます。

## 心理職

学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)または同等と認められる学校において、心理学の課程を修めて卒業した方(見込みを含む)や、公認心理師の資格を有する方(取得見込みを含む)は試験を受けることができます。

児童福祉 女性福祉 生活保護 **子ども家庭センター**

子どもに関するあらゆる問題に対して相談に応じ、面接や家庭訪問等を行い、必要に応じて、子どもを児童福祉施設に入所・里親委託等を行い、その健全な育成を図ります。

配偶者暴力相談支援センターとして、配偶者からの暴力についての相談・支援を行います。

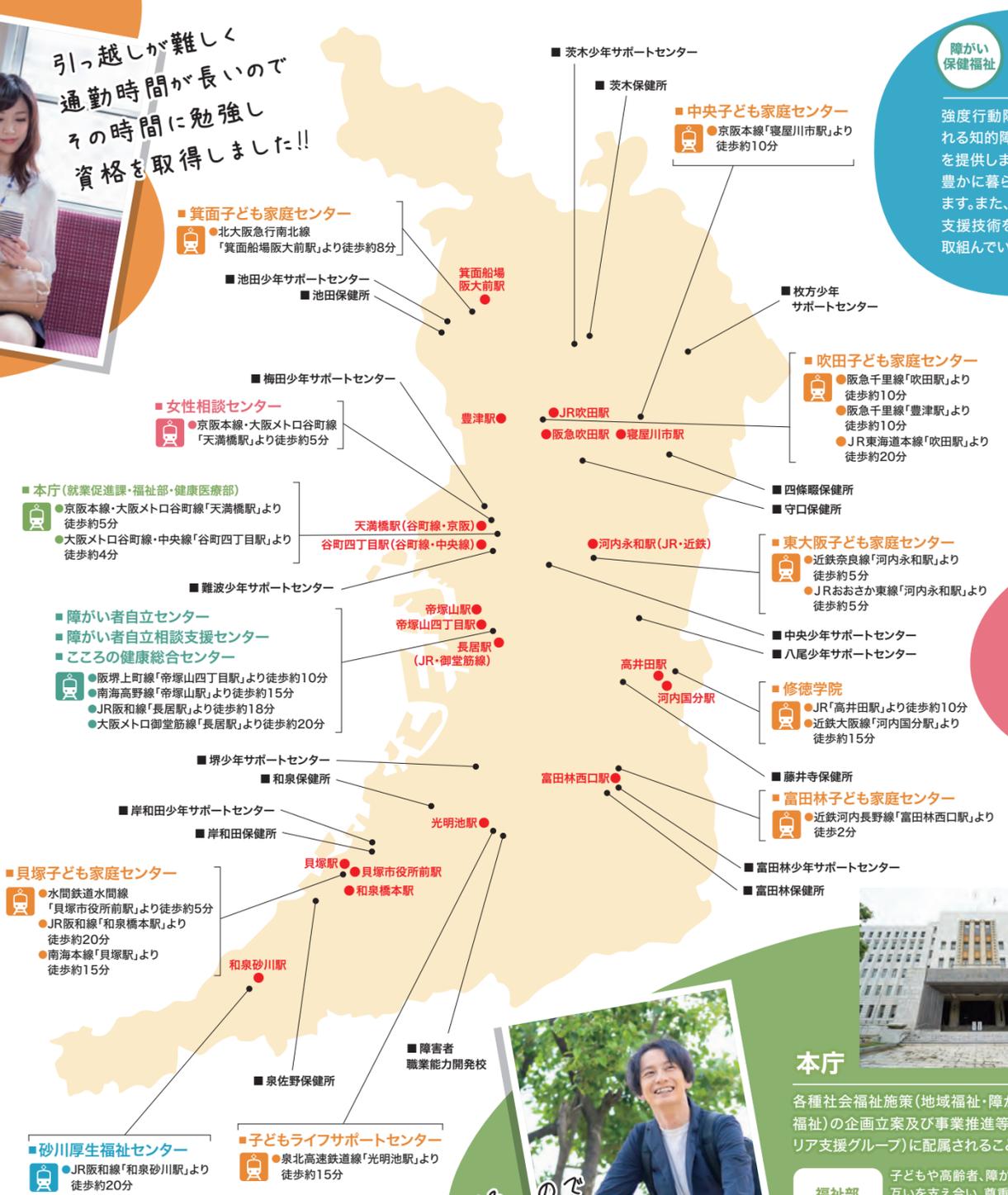
府内郡部の生活保護、助産施設・母子生活支援施設への入所などに関する相談に応じます。



引っ越しが難しく  
通勤時間が長いので  
その時間に勉強し  
資格を取得しました!!

あなたのキャリアを育てさせる 通勤時間について負担とならないよう、配慮した上で配属します。

**福祉専門職が配属される各機関**



障がい保健福祉 **砂川厚生福祉センター**

強度行動障がいや反社会・非社会的行動がみられる知的障がいのある方に対して、専門的な支援を提供します。そして、地域社会の中で自分らしく豊かに暮らせるよう、地域生活移行をめざしています。また、知的障がい者福祉に関する専門的な支援技術を発信し、研修等を通じ、人材育成にも取り組んでいます。



■ いぶき

■ つばさ

児童福祉 **子どもライフサポートセンター**

社会的養護を必要とする中学校卒業から18歳までの児童に対し、心理的ケアとともに、進学や就職など社会的な自立に向けた支援を行っています。



女性福祉 **女性相談センター**

配偶者や恋人等からの暴力の相談やストーカー被害、夫婦や家庭内のトラブル等、女性からのあらゆる相談に応じています。



障がい保健福祉 **こころの健康総合センター**

精神保健福祉に関する中核機関として、関係機関に対する支援やネットワークづくりを進め、府民のこころの健康づくりの保持や増進を図ります。また、依存症対策や自殺対策、災害時のこころのケアなどの重点課題にも取り組んでいます。



児童福祉 **少年サポートセンター**

非行防止や立ち直り支援等、少年の健全育成のための支援を行います。

障がい保健福祉 **障害者職業能力開発校**

障がい者のための職業能力開発施設です。障がい者の社会参加・職業自立のための支援を行います。生徒の支援計画作成と支援機関等との連携、生活指導及び就職支援が主な業務になります。

**本庁**

各種社会福祉施策(地域福祉・障がい者福祉・高齢者福祉・児童福祉)の企画立案及び事業推進等を行います。就業促進課(キャリア支援グループ)に配属されることもあります。

福祉部

健康医療部

子どもや高齢者、障がい者など誰もが身近な地域で、お互いを支え合い、尊重し合いながら、安心して暮らすことができるよう、福祉施策の総合的な推進に取組みます。

自殺対策や依存症対策、精神科救急をはじめ、保健所や地域医療機関との調整、精神保健医療施策に関することに取組んでいます。



大阪府の中心部に住んでいるので、  
どこへ配属になっても通勤  
運動不足解消に自転車通勤  
しています!!

児童福祉 **修徳学院**



非行や家庭環境、その他の理由により、生活指導を要する子どもたちに対して、生活指導・作業指導・学習指導を通して、健全な社会生活を営むために必要な人格の形成、基礎体力・学力の向上、自立心の習得をめざし、心身の健全な育成と自立のための支援を行います。

障がい保健福祉 **障がい者自立センター**

身体障がいや高次脳機能障がいのある方に支援プログラムを実施し、自立訓練及び施設入所支援のサービスを行うことで、地域での自立に向け、社会生活力を高めるための支援を行います。

障がい保健福祉 **障がい者自立相談支援センター**

18歳以上の身体障がい・知的障がいのある方への相談支援・判定・手帳発行業務を行っています。また、障がいのある方の地域生活の支援や相談支援のためのネットワークの構築を進めています。



障がい保健福祉 **保健所**  
※大阪府所管

地域精神保健福祉業務の中心的な機関として、こころの健康に関する相談や、医療情報の提供、知識の普及などを行い、府民のこころの健康の保持、向上を図るための諸活動を行います。



### 大変だけどやりがいのある仕事

**福祉の仕事は  
肉体的にも精神的にも大変ですが、  
やりがいのある仕事です！**

生活の中に入って支援をするので、成長や変化が自分で確かめられるのは、かなりやりがいを感じます。また他者の人生のターニングポイントに立ち会えるのは非常に貴重な体験だと思います。



児童相談業務は、場合によっては子どもを親から分離する必要があると判断して相談者と対立することもあり、やりがいを見失いそうになることもあります。しかし、相談者が答えを出して晴れやかな顔になっている時は心からやりがいを感じます。

大規模災害時には、被災地へ派遣されることもあります。災害派遣の経験を通して、支援とは何かを深く考えさせられました。

仕事？

プライベート？



# "どっちも！"が かなう職場です。

### プライベートとの両立は？

**夏期休暇・有給などの制度も充実、  
休みもしっかり取れます。  
公務員なので収入の心配もありません！**

キャンプが趣味なので土日の休みを利用して友達と楽しんでいます！自然の中で日頃の疲れもリフレッシュできますし、キャンプは撤収が早いので、日曜の午前中には撤収して次の日の仕事に備えます。



プライベートの時間は子どもと遊んだりして家族の時間を大切にしています。

以前は民間で働いていましたが、プライベートで結婚、その後子どももでき、収入面で将来に不安を感じました。公務員であれば環境が変わっても収入への心配がないので大阪府へ途中入庁しました！

### キャリアリード制度は大変？

**異動で職場が変わっても、  
周りのフォロー体制がしっかりしているので  
不安なく働けます！**



主査に昇任してすぐに別の部署への異動が決まりました。立場上とめないとはいけな思いつつも、初めての部署で仕事内容もわからないので不安はありましたが、周りの職員同士が声を掛け合い、コミュニケーションを取りながらフォローし合っており、すぐに馴染めました！

初めて施設職員になった時、何もわからず自信もないまま、興奮した子どもにうまく対応ができませんでした。心細く不安でしたが、先輩の職員がぱっと来てフォローしてくれ、緩急をつけてうまく指導をしているのを間近で見て、支援の幅広さを学びました。自分の職員としての動き方、あり方を教えてくれました。

キャリア  
リードの  
詳細は  
P.15

### キャリアアップのために資格を取りたい

**働きながら資格も取れます！  
有資格者も多いので  
周りの人からのサポートも！**

社会福祉士の受験資格を持っていたので、働きながら勉強をして取得をしました。試験前には先輩職員に仕事のフォローをして頂き、ノー残業で帰宅し勉強しました！



仕事をするうちに精神保健福祉について勉強したいと思い、受験資格がなかったので働きながら通信の専門学校に通っていました。レポートは仕事が終わった後や休日を使って提出し、スクーリングは5日間だったので夏期休暇を利用して通い、資格を取りました。

### 子育てしながら働ける？

**子育て支援制度が充実しているので  
安心して働いてください！**

産前・産後休暇を取得し出産しました。育児休業後、復職したあとも子育て部分休暇の制度等を使って働いています。子どもが小学3年生までは、1日2時間までの休暇を取得できるので、子どもの予定に合わせて仕事の調整を行ったり、急なお迎えにも対応できます。



就学前の子どもを育てている時に使える育児短時間勤務という制度があります。子どもが体調を崩した時には、子の看護休暇の制度があるので助かっています！看護休暇は通常は1年に5日の取得ですが、子どもが2人いるので10日取得することができます。



### 勤務条件は コチラ

給与 / 初任給は、経歴その他に応じて、一定の基準により決定されます。

初任給 月額 227,200円程度 令和5年4月1日現在で年齢が22歳、大学卒業後の場合、地域手当含む。  
施設や相談機関で働く福祉専門職には、給与に調整額が加算されます。

※給料の月額以外に、通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、期末手当、勤続手当等の諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

### 職務内容 /

子ども家庭センター等の行政機関において、相談支援業務等に、又は、社会福祉施設において生活支援業務等に従事します。(夜間勤務や当直勤務があります。(一部の行政機関を除く))

勤務先 / ※詳しくはP.3~P.4をご参照ください。

本庁、子ども家庭センター、保健所等の行政機関、社会福祉施設等(砂川厚生福祉センター、障がい者自立センター、女性相談センター一時保護所、子ども家庭センター一時保護所、修徳学院、子どもライフサポートセンター等)

### 勤務時間 /

原則として、午前9時から午後5時30分又は午前9時15分から午後5時45分まで(午後0時15分から午後1時まで休憩時間)となっており、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休みとなります。ただし、勤務先により、変則勤務や交替制勤務等様々な勤務形態(夜間勤務や当直勤務を含む)があります。

### 休暇 /

年次休暇(年間20日。残日数は20日を限度として翌年に繰越します。ただし、採用の年は、4月1日付採用の場合で、年末までの間に15日となります。)のほか、病気休暇、特別休暇(夏期・結婚・出産等)、介護休暇、介護時間、子育て部分休暇及び出生サポート休暇があります。

### 主な子育て支援制度 / ※下記の特別休暇等の取得にはそれぞれ別途要件、請求手続き等があります。

産前・産後休暇	出産する場合、出産予定日以前8週間以内から出産日後8週間までの期間内で取得できます。
配偶者の育児参加休暇	配偶者の出産予定日前8週間から1年経過するまでの期間に、5日以内で取得できます。
育児休業	子が満3歳になるまで休業できます。
育児短時間勤務	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、短時間勤務ができます。
子の看護休暇	中学校就学の始期に達していない子を看護する場合、1年に5日(2人以上の場合は10日)以内で取得できます。
早出遅出勤務	一定の要件を満たす場合、勤務時間(7時間45分)はそのままで、子育てのために始業を早くしたり、遅くしたりできます。
子育て部分休暇	小学校の第3学年までに在学している子を養育する場合、15分を単位とし、1日2時間を超えない範囲で取得できます。

勤務年数に応じた充実した**研修**で  
 未来の福祉に不可欠な  
**ゼネラル**で**スペシャル**な人材を  
 育成します！

しっかり  
サポート/  
**ジョブトレーナー制度**

新規採用職員へのサポート制度です。  
 採用後約1年間、先輩職員が「ジョブトレーナー」  
 として実務面のサポートを行います。  
 様々な不安に応じて良き相談相手になり、  
 新規採用職員の不安を解消するので、  
 安心して仕事に取り組めます。



採用当初

府政の現状と課題、  
 公務員倫理の  
 基礎知識等

新規採用～  
約6年目

対人援助基礎研修・  
 福祉制度理解研修等

約4年～  
約10年目

困難事例への  
 支援技術研修・  
 大阪府福祉施策研修等

採用

新規採用  
職員研修

基礎研修

実務研修

GROW UP!

経験年数や職域、職階に応じて様々な研修が実施されています。ほんの一部をご紹介します！

**採用当初**

例えは  
 通称「ジェノグラム研修」  
**対人援助基礎研修「ジェノグラムから家族関係を考える」**

研修対象者 1年目の職員

研修内容  
 家族理解のツールとしてのジェノグラムを使用し、子どもを取り巻く環境のアセスメントとその関係性の理解を深める研修。ジェノグラムの作成の基本や聴取方法を、面接（ロールプレイ）等で実践的に学ぶ。

研修後の感想  
 ●ジェノグラムを見ただけで、様々な家族歴、関係性を知り得ることができたことを学んだ。ジェノグラム作成の際は、家族構成や名前の由来などの細かい情報を集めることで、より深いアセスメントへと繋がっていったと感じた。  
 ●ジェノグラムの活用の仕方について学ぶことができたと同時に、援助者には支援対象者を理解するために想像力が求められることを知ることができた。

例えは  
**対人援助基礎研修「子どもの成長・発達」**

研修対象者 2年目の職員

研修内容  
 保健師より、妊娠期の妊婦の特性、支援方法・乳幼児期の発達の特性、関わり方を学ぶ。赤ちゃん人形等を使って、子育て経験がない職員もおむつ交換や抱っこの手技等を学ぶ他、録音された赤ちゃんの泣き声を数分間聞き続けて、どのような心境になるのかを体験。

研修後の感想  
 ●子ども家庭センターでは、生まれて間もない子どもを保護することもあるため、基本的な関わりや触れ合い方を学べてよかった。  
 ●妊娠・出産の経験がないため、保護者の方との面接の際に、親御さんの育児の大変さに共感が難しく歯がゆかった。研修を経て、今まで以上に思いに寄り添えることができる。

その後の  
キャリア形成

約7年～約10年目

福祉施策の現状と課題、  
 関係諸分野の制度理解研修等

専門研修

主査級以上

ファシリテーション・スーパーバイズ研修・  
 戦略的思考力・マネジメント研修等

指導者  
育成研修

大阪府では育成プランを「見える化」し

専門性の高い新たな人材の育成に

計画的・組織的に取り組んでいます。



育成プランを「見える化」し、年次や職階に応じて求められる専門性とその育成方針を、育成「する側」と「される側」に共有することで、すべての職員が、共通の目標をもって計画的に育ち/育てられるよう、工夫しています。

福祉専門職に  
必要とされる専門性

コミュニケーション技術

メンバーシップ・リーダーシップ

支援技術

ケースマネジメント

関係機関調整

キャリアの各段階（入庁～3ヶ月、4ヶ月～1年、1年～3年等）において、必要とされる習得目標を明確に示しています。また、その習得のために、周りのメンバーが行う育成支援方針を共有し、組織的な人材育成に取り組んでいます。

育成される側

- 経験や職階により求められる専門性や、職場の育成方針の理解
- 求められる専門性に対する今後の見通し
- 能動的な業務への取り組み

育成する側

- 組織的な育成方針の共有
- 育成手法やマネジメントスキルの獲得

3年かけて育成期  
 4ヶ月  
 1年目

社会福祉職・相談支援業務の育成プラン一例

ソーシャルワーク

面接技術、相談援助技術（面接力・技法）

習得目標  
 ●一人で基本的な電話対応等ができ、困ったときはまわりに確認できる。  
 ●SV等と面接の目的や内容を確認した上で、複数対応で一部の面接対応等ができる。

ケースマネジメント（アセスメント・プランニング）

習得目標  
 ●面接等による関わりの中で、支援対象者の状況や課題に至る背景を理解し、記録することができる。

育成支援 /

- 電話・面接対応について、同席したSVやジョブトレーナー等がモデルを示しながら、記録から始め、徐々に対応できるように支援する。
- 訪問等の目的や内容等について事前に伝え、終了後に振り返りの時間をもつ。

3年かけて育成期  
 ファーストステップ  
 3ヶ月

心理職・心理支援業務の育成プラン一例

心理的援助

心理診断・面接技術（心理検査・心理面接）

習得目標  
 ●新版K式発達検査、KIDS乳幼児発達スケール、S-M社会生活能力検査の実施方法や心理所見の書き方を知る。  
 ●療育手帳業務について、SV等の指導のもと検査を実施し、所見を作成する。  
 ●子どもの発達、知的障がい、発達障がいについて知る。

ケースマネジメント（アセスメント・プランニング）

習得目標  
 ●療育手帳制度と業務の流れを理解する。  
 ●ケースファイルの役割、構成、保管場所、保管方法について理解し、そこからケース概要を把握する。  
 ●他の職員の電話対応等を観察する。

育成支援 /

- 療育手帳の面接場面を見せ、検査や面接の流れを伝える。
- 新版K式発達検査、KIDS乳幼児発達スケール、S-M社会生活能力検査の実施方法を教え、検査の練習を行うとともに、検査の解釈や、心理所見の書き方を伝える。
- ケースファイルの役割、構成、保管場所、保管方法について説明する。



### 同期と仲がよく、 学生時代の友達よりもよく出かけます!

所属先が違っていても、研修などで顔を合わせる機会も多く、頻りに連絡を取り、情報共有なども行っています。仕事への理解もあり、相談事も気軽にできるので、いつも同期には助けられています。

**社会福祉職** 26歳 女性  
〈入庁年度〉令和2年  
〈現在の所属〉子ども家庭センター 育成支援第二課  
〈所属歴〉令和2年 子ども家庭センター 保護第一課  
令和3年 子ども家庭センター 育成支援第二課

### ある日のスケジュール 大公開!

## 福祉専門職の “1日”

### OFFは子どもと過ごしたり 体を動かしてリフレッシュ!

平日は休みが取りやすいので、保育園への送迎や、上の子が小学校から帰ったら遊んだり、子どもたちとの時間も大切にしています。福祉の仕事は成果が見えにくい仕事なので、自分がやった分の成果が見える趣味で仕事とのバランスを取っています。

**心理職** 37歳 男性  
〈入庁年度〉平成28年  
〈現在の所属〉子どもライフサポートセンター  
〈所属歴〉平成28年 子ども家庭センター 育成支援課  
平成30年 子どもライフサポートセンター



#### 仕事内容

育成支援課は一時保護を経て、家に帰れない様々な事情がある子どもたちや、施設入所や里親委託になった子どもたちの関係の調整や支援をしていく部署になります。その中の家庭移行チームに所属しており、主に未就学児(0歳~6歳)と里親委託になっている児童を担当しています。早期の家庭復帰や家庭的養育を目指し、面接や訪問、家族交流を重ね、児童が安心安全に、健やかに成長できるよう支援しています。

#### Q 1日のスケジュールは どのように管理していますか?

家庭や施設へ訪問する際は、電車での移動時間や、長引く可能性などを考慮しながら予定を決めます。1日予定が詰まっている日などは、1番最初の予定の前に、退庁するまでの時間配分や電車の時間なども事前に調べておく管理しやすいです。相談相手によっては時間を長めに取ったりするなどの工夫もしています。他の予定に支障が出そうな場合は、どの案件を優先すべきかを見極めたうえで調整を行うようにしています。

#### Q 勤務体制について教えてください。

基本の勤務体制は月~金曜日の9:15~17:45まで、土日祝日は休みです。定時で退庁することがほとんどですが、相談相手の都合で残業することもあります。シフト制ではないですが、有給休暇なども取りやすい環境なので、予定がある際はスケジュールを調整して休暇制度の利用もしています。どの所属先も、休みは取りやすい職場でした。

#### Q 休みの日はどのように過ごしていますか?

仕事のこと忘れてゆっくり休むことが多いです。コロナ禍が収まってからは旅行に行くことが多いです。最近は同期と休みを合わせて旅行へ行きました。福祉の仕事はどの部署も大変なので、旅行では自然の中でBBQをして、リフレッシュしました。次は九州方面への旅行を計画しています!休みが終わったらしっかり仕事モードに切り替えます。

#### Q 退庁後はどのように過ごしていますか?

退庁後は家でリラックスして、その日の疲れを癒しています。ストレッチなどで、次の日の仕事に備えます。現在通勤時間が短く、プライベートの時間も確保できるので、学生時代に習っていた空手か、新たにテニスにチャレンジして、リフレッシュしようと考えています。先輩方の中にも、退庁後にスポーツをしたり、ジムに通って体を動かしている人がたくさんいます。

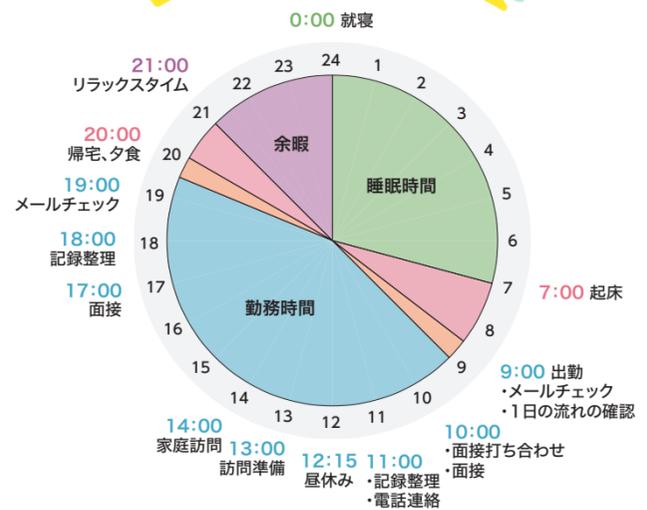
#### 受験される方 ひとこと

最初は大変ですが、最近は予想もしないことが起きて楽しむ余裕が出てきており、やりがいも感じています。支援は自分一人ではなくチームで行うため、あまり構えなくて大丈夫です。しんどい時は一緒に愚痴をこぼし合い、労い合い、また明日から頑張ろうと思える職場です。大変な中にも喜びや楽しさ、面白さを感じる瞬間はたくさんあります。みなさんと一緒にできることを楽しみにしております。就職活動や国家試験等、忙しい日々だと思いますが、お体大事にしてください。

#### 福祉の仕事を選んだきっかけ

福祉に興味を持ったのは、入院していた祖父が一時帰宅できずに亡くなったことがきっかけでした。自分に何かできることはなかったのかを模索していましたが、実習を通して特性を持った利用者さんとのやり取りの中で、障がい者福祉の分野に興味を持ちました。また、児童福祉の分野にも関わり、ボランティアで被虐待児と接する中で、やり取りや距離感に違和感があったことをよく覚えています。児童だけでなく家庭と関わり、より深く知りたいと感じました。二つの分野どちらにも携われる職場を考え、大阪府の福祉専門職を選びました。

#### ある日のスケジュール



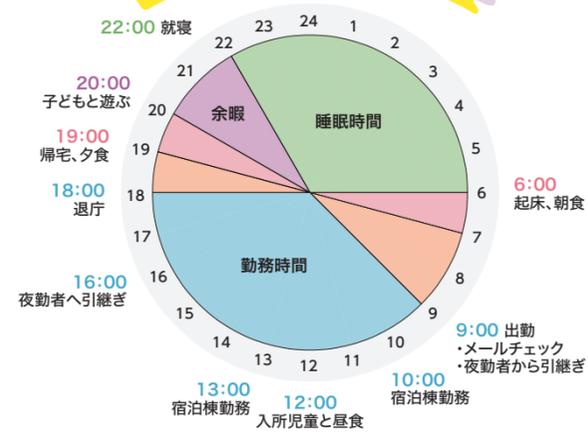
#### 仕事内容

虐待などを理由に家庭や民間の施設で生活するのが困難な子どもが生活する施設で、客観的に見て支援が必要な状況にある18歳までの子どもたちの生活支援を行いながら、生活の中で心理面接をしたり、児童の心理的な見立てを他の職員と共有したりしています。

#### Q 大変な部分はどこですか?

相談機関であれば、面接の時間や場所を決めて支援を行います。ここでは交代で児童の生活の場に入って支援を行うので、トラブルが起きてもその時の勤務者だけで最後まで対応を続ける必要があります。それが面白さでもあります。最初の頃は心細さと、自分の対応が正しいか不安を抱えながら過ごしました。特に夜間は日勤者から引継ぎを受けてから支援に入りますが、日中より職員数が少ないので、トラブルが起きた際は大変です。しかし、施設でしか取組むことができない「生活場面面接」を通して心理支援業務に携われることはやりがいでもあります。

#### ある日の日勤スケジュール



#### 福祉の仕事を選んだきっかけ

人の話を聞くのが好きでしたが、知識や技術がなければ表面的な理解に留まり、また時に状態を悪化させてしまうこともあると知り、専門的に学ぶことを志しました。理解し難い方をもっと理解したいという思いが大きかったように思います。卒業後は、精神科病院で臨床心理士として働いていましたが、来院される方のほとんどが幼少期の出来事が背景にあり、子ども関係の仕事をやりたいという好奇心から、新しい世界への興味もあって、転職を考えました。また、今後の収入面のことも考え、心理職でありながら安定した大阪府への入庁を決めました。

#### Q 1日のスケジュールはどのように管理していますか?

基本的に宿泊棟に張りつけになるため、児童対応が最優先になります。その隙間時間に事務仕事などを行うことが多いです。全体のスケジュール表が事務所に掲示されているので、職員同士の状況を把握しながら、フォロー合っています。トラブルは毎日起こるので、他の方との連携が大事なポイントです。

#### Q 夜勤がありますがシフトはどのように組まれますか?

夜勤までの勤務は勤務開始時間が少しずつ遅くなるようにしています。日勤として朝9時から勤務した翌日は13時15分の遅出勤務を、その翌日は夜勤として16時45分から勤務して、夜勤明けは1~2日は休みがもらえるので、そこでリズムを整えて次の日勤に備えます。夜勤の際は緊張もありますが、フロアが落ち着いていれば仮眠や休憩をとれます。

#### ある日の夜勤スケジュール



#### 受験される方 ひとこと

心理職を志す方は給与よりもやりがい、面白さを求める方も多いですが、安定した給与はやはり大事です。なおかつ、生活支援にも心理職が入れる自治体は多くないと思います。大変なことも多いですが、それ以上にやりがい、手ごたえを感じやすい職場だと思います。心理職として最前線でやってみたい!という方はぜひ来てください。



1年目で大変だけど、安心して働ける、やりがいを感じられる仕事です。

### 社会福祉職

23歳 男性  
〈入庁年度〉令和5年  
〈現在の所属〉砂川厚生福祉センター

### 仕事内容

砂川厚生福祉センターで暮らし利用者の生活全般を支援しています。プログラム活動や、利用者が作業課題に取り組んでいるかを見守ります。入浴支援や、利用者と一緒に買い物に行くなどの支援もしています。生活支援事業所や移動支援事業所を利用する方もいらっしゃいますので、その方の活動のための準備等も行います。重度の知的障がいのある方がほとんどで、言葉での意思疎通が難しい方が多いですが、活動内容の書かれたカードや筆談でコミュニケーションを取っています。

### 福祉の仕事を選んだきっかけ

将来の夢として「人の役にたつ仕事」「人と関われる仕事」に就きたかったので、教育の道を目指していましたが、母の仕事が「福祉」だったため、「こんな仕事も面白そうだな」と興味を持ったのがきっかけでした。また、大学で「福祉」を学ぶ実習の際に、いろいろな個性を持った人とたくさん関わることができ、自分でも誰かの力になれるのだと感じこの仕事を選びました。数ある福祉職の中でも、大阪府の職員を選んだのは、学校に説明に来られていたのがきっかけでした。

### Q 今の仕事は大変ですか？

入庁して感じたのは、肉体的よりも精神的に大変なことが多いことです。対応が難しい時、迷った時は、戸惑いと不安でいっぱいでした。特に印象に残っているのは、利用者のことがまだよくわかっていない時に、目の前で利用者が不穏になったときです。何もわからないまま、どうしたらいいのかとパニックになったのを覚えています。しかし、大阪府には「ジョブトレーナー制度」があり、1年目の職員には必ず先輩が一人ついて来てくれます。僕には4年目の先輩がついて来ていましたが、そういったトラブルの際は素早くフォローしてくれました。

### Q 大変なのに続けられるのはなぜですか？

利用者の方との意思疎通が大きな課題とありますが、それをこなしただけでその日の活動支援がうまくいく時にやりがいを感じています。1年目ですることが限られる中でも、「できるのにやらない・やりたくない」という方を少しでも減らしていき、積極的に活動してもらえよう日々努力しています。経験を積み、支援の導入に関わるなど、個人的な支援の担当のみではなく、施設全体へ視野を広げていけるようになるのが今後の目標です。

### Q 困った時、悩んだ時はどうしていますか？

大阪府ならではの「ジョブトレーナー制度」によって、常に先輩職員が近くにいることや、採用人数が多く同期の職員が多いので、大変なことやしんどいことはもちろん、うれしかったことなどを共有し、励まし合っています。自分自身ができなかったことも、共有することでどう対応したらよかったのか、他の人ならどんな対応をしたのかを知ることができ、できなかったこと＝ダメなことにつながらず、次のステップへ進むことができます。僕の場合は、母が福祉の仕事をしており、家族にも仕事の内容を理解してもらえ、しんどい時は支えられています。

### 受験される方に ひとこと

受験もあり忙しいと思いますが、今しかできないことはぜひそちらを優先してください。コロナ禍が緩和され、旅行などへも積極的に出かける環境なので、様々なものに触れ、出会うことは、福祉の仕事をする上で役に立ちますし、たくさんの人と関わりを持つことも大切です。特性や事情を持った人と関わる仕事なので、支援する私たちにとっては大変なこともありますが、毎日の関わりを楽しみ、その人を深く知っていくことで、楽しさや面白さを感じることができます。そんな刺激的な毎日の中で切磋琢磨しながら、皆さんと共に働くことのできる日を楽しみにしています。



福祉専門職のスペシャリストの中で、さらに高いスキルを学ぶことができます。

### 心理職

38歳 女性  
〈入庁年度〉令和2年  
〈現在の所属〉子ども家庭センター 相談対応課  
〈所属歴〉令和2年 子ども家庭センター 育成支援課  
令和5年 子ども家庭センター 相談対応課

### 仕事内容

児童福祉分野の相談窓口の役割があるので、近隣や学校等からの虐待通告があった際の初期対応、保護者からの相談への対応、警察から通告のあった非行少年への指導等、色々なケースに対応します。面接や検査から心理アセスメントを行ったり、子どもや保護者に対して心理教育を行ったり、子どもとは自己理解を深めるための面接、保護者とは子どもへの関わり方を考えるための面接を実施します。場合によっては施設入所の判断に至ることもあります。

### 福祉の仕事を選んだきっかけ

「人の心について考える仕事に就きたい」という思いがあり、学生時代に一時保護所のアルバイトの経験を経て、児童福祉分野に興味を持ちました。一般的な心理カウンセリングは、相談の意志がある方が来所しますが、福祉分野では、本人に相談の意志がない中でアプローチし、隠れたニーズを引き出す力が求められます。SOSを出せない方達と関わる力をつけたいと思い、福祉の仕事への関心が高まりました。

### Q 転職を選択された理由・中途採用ならではの悩みを教えてください。

以前は別の市町村の児童福祉分野で心理職として働いており、ここでは行政職の方が配属されることもありましたが、大阪府はすべての方が専門職で、スーパービジョンの体制が整っており、様々な角度から学ぶことができると感じました。中途採用ということで、ある程度の経験や知識、スキルを持っていることを期待されているので、プレッシャーはありました。また同期に同年代の方が少ない不安もありましたが、新規採用職員に対してのフォロー体制が整っていることや、お互いを励まし合う職場の雰囲気ですぐに馴染むことができました。

### Q 仕事の魅力、やりがいを教えてください。

やりがいが見えにくい仕事です。相談者だけでなく、その方を取り巻く色々な人や、関係機関の抱えるしんどさにも触れる機会も多いです。問題の複雑性から、スムーズに事が運ばない、解決しない、正解がないというのが日常であるため、スッキリとした達成感は感じにくいですが、そんな中で、子どもたちが回復していく姿や、保護者の方が自身を振り返り進もうとする姿を見ていると、人が変わる瞬間に立ち会えることに喜びややりがいを感じます。また、子どもや保護者、関係者との出会いの中で、たくさん勉強させてもらえるのがこの仕事の面白いところだと感じています。相談者をどう理解しどう支援していくのかを通して、自分自身の理解も深まり、成長に繋がると感じることがあります。

### Q 学生時代にしておくことはありますか？

人との関わりをたくさん持ってください。その中で様々な視点や価値観に触れながら「社会の平均」を知ることが、支援をする際の大事な目安になると思います。社会福祉職や心理職は、いわゆる「普通」「常識」とされることと、自らの置かれた状況や境遇との差にしんどさを感じている方たちと関わる仕事です。その個別の「しんどさ」に焦点を当てて支援するには、一方で「社会の平均」を知っておくことも重要なことだと感じます。

### 受験される方に ひとこと

現在、「大阪府一択！」という方や、色々な悩みや迷いを抱えながら就職活動をされている方もいらっしゃるかと思います。私も悩みながら就職先を決めました。悩むことはとても苦しいですが、どんな選択をしても、「それだけ悩んで決めた」ということが、その後の自分を支えてくれます。色々な人に相談しながら、丁寧に考えてください。大阪府の福祉専門職は大変なことも多いですが、かっこいい先輩や上司、面白い人たちがたくさんいる職場です。ご縁があれば、一緒に働くことを願います。



保健医療の分野で  
相談者へ寄り添いながら  
多職種チームで支援します。

**社会福祉職**

42歳 女性  
 (入庁年度)平成16年  
 (現在の所属)保健所 地域保健課  
 (所属歴)平成16年 健康福祉部障害保健福祉室 精神保健福祉課  
 平成16年 子ども家庭センター 虐待対応課  
 平成20年 こころの健康総合センター 企画課  
 平成24年 保健所 地域保健課  
 (平成28年 他地域の保健所に異動)  
 平成31年 福祉部障がい福祉室 生活基盤推進課

**仕事内容**

保健所の精神保健福祉チームに所属しており、統合失調症や依存症などのこころの病気や、ひきこもり、自殺未遂等について、本人や家族、関係機関等からの相談を受けたり、居宅等に訪問したりしています。また、府民の方向けの啓発、家族の方向けの教室や関係機関職員向け研修等も開催しています。保健所で働くことは保健医療分野での仕事になり、精神科医や保健師と協力して仕事をすることが多いです。私は権利擁護の視点を大切にしながら、こころの病気をかかえる人が、地域で安心して暮らしていただけるよう福祉専門職としての専門性をいかして仕事をしています。

**福祉の仕事を選んだきっかけ**

兄弟の世話をしていたこと等から漠然と対人援助の仕事につきたいと考えていました。学生時代に障がい施設や児童養護施設、小児病棟等のボランティアを通じて、その人や家族が希望する生活を送れるように一緒に考えていけるような仕事をしたいと思い、福祉の仕事を選びました。

**Q 入庁してすぐは大変ですか？**

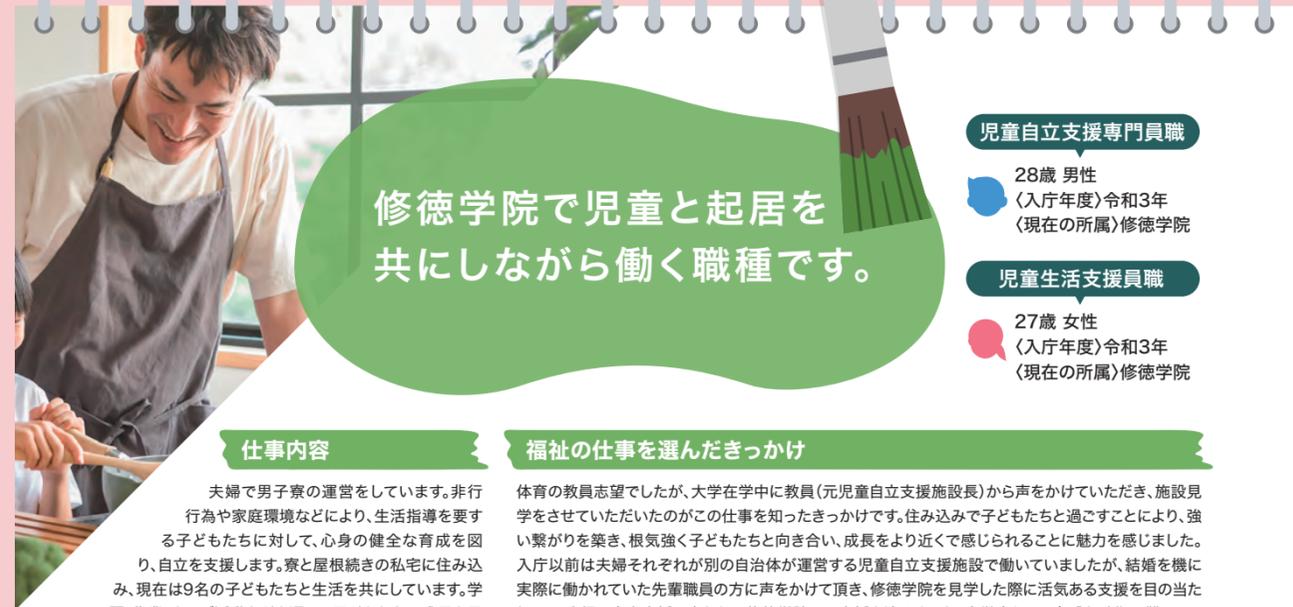
予想していなかった精神保健福祉分野への配属になったため、不安がありました。現在ある「ジョブトレーナー制度」等は当時ありませんでしたが、制度はなくても先輩方からのフォロー体制は整っていたので、どの配属先でも安心して仕事ことができました。これまでの経験が、今の業務にも大いに役立っていると感じています。大阪府の社会福祉職の業務内容は幅広いため、特に初めて経験するような部署では最初は大変に感じることもあるかもしれませんが、周囲のサポートがあるので大丈夫です。保健所では、医師、保健師、薬剤師、栄養士、行政職等たくさんの職種の方がおられ、色々な専門家の意見を聞きながら仕事ができるので、とてもありがたい環境だと思います。

**Q 精神保健福祉分野の仕事を詳しく教えてください。**

精神保健福祉分野の相談は、精神疾患のある方、精神障がい者、精神保健(メンタルヘルス)の課題を抱える人など支援の対象は幅広く、相談内容によっては他機関と連携しながら支援したり、他機関の専門相談につないだりすることもあります。長期に関わっている方もあり、例えば、精神科が未治療でほとんど外出をされなかった方について、前任の相談員と同様に、相談者の気持ち等を丁寧に聞きながら訪問等を重ねる中で、精神科医療や福祉サービスにつながったことは印象に残っています。また、現在の職場では、若年層への啓発にも力をいれており、管内の高校や大学等にメンタルヘルスや依存症についての出前授業等を行っています。学校と事前に打ち合わせをし、内容を決めています。保健所で相談を受けると、誰にも相談できなかった、どこに相談したらいいかわからなかった等とお聞きすることもありますので、このような啓発は大事なことだと感じています。

**受験される方に  
ひとこと**

大阪府の福祉専門職の勤務先は幅広く、多岐にわたっており、どの職場でもやりがいや楽しさはあると感じています。福利厚生も保障されており、私自身も子育て中ですが、現在部分休業や子の看護休暇を利用しています。どんな方でも働きやすい環境です。ぜひ一緒に働けますことを楽しみにしています。



修徳学院で児童と起居を  
共にしながら働く職種です。

**児童自立支援専門員職**

28歳 男性  
 (入庁年度)令和3年  
 (現在の所属)修徳学院

**児童生活支援員職**

27歳 女性  
 (入庁年度)令和3年  
 (現在の所属)修徳学院

**仕事内容**

夫婦で男子寮の運営をしています。非行行為や家庭環境などにより、生活指導を要する子どもたちに対して、心身の健全な育成を図り、自立を支援します。寮と屋根続きの私宅に住み込み、現在は9名の子どもたちと生活を共にしています。学習・作業・クラブ活動などを通して子どもたちの成長を見守りつつ、私自身も「WITHの精神」を大切に、子どもたちの見本となるよう仕事に励んでいます。

**福祉の仕事を選んだきっかけ**

体育の教員志望でしたが、大学在学中に教員(元児童自立支援施設長)から声をかけていただき、施設見学をさせていただいたのがこの仕事を知ったきっかけです。住み込みで子どもたちと過ごすことにより、強い繋がりを築き、根気強く子どもたちと向き合い、成長をより近くで感じられることに魅力を感じました。入庁以前は夫婦それぞれが別の自治体が運営する児童自立支援施設で働いていましたが、結婚を機に実際に働かれていた先輩職員の方に声をかけて頂き、修徳学院を見学した際に活気ある支援を目の当たりにし、夫婦で自立支援に当たれる修徳学院での支援を決めました。中学生という多感な時期で難しいことも山ほどありますが、「一人の人生を変えられる仕事」と言う先輩の言葉を聞いて、とてもやりがいのある仕事だと思いこの仕事を選びました。

**Q どんな環境でどのような支援を行っていますか？**

インタビューはご夫婦で答えています

- 修徳学院には男子寮と女子寮があり、それぞれ夫婦または男性職員と女性職員がペアとなり、寮長・寮母として二人一組で運営します。24時間同じ屋根の下で生活を共にしているので、扉を開けたら職場という環境になります。毎日の生活すべてが支援にあたります。それに加えて、寮によって様々な取組みをしており、私の寮では野菜を一から自分たちで作り、その野菜を子どもと一緒に調理したり、保護者に持って帰ってもらったりしています。他にも、犬やヤギを飼育したり、最近ではそば打ちにも挑戦しています。
- 自分自身の妊娠を通じて、実際にお腹が大きくなっていく中で、タイムリーに命の大切さや、生まれたことの奇跡等を子どもたちに身をもって伝えることができました。その体験から、自分が生まれたことに対して感じたことを発表してくれた子もいました。今では一緒に面倒を見たりしてくれているので、私自身が子どもたちに助けられる瞬間もたくさんあります。
- 様々な取組みをしますが、特別何かを意識して支援にあたるというよりは、24時間一緒に過ごして、つらいことや楽しいことを共有しながら、心を開いてもらいたいと思っています。

**Q 大変なこと・苦労したことはありますか？**

- 子どもたちは心に色々な課題や傷を抱えています。甘えを暴言や反抗という形でしか出すことが出来ず、それに気付きながらも私たち夫婦も感情を持つ人間であるため、向き合うことが難しいと思うこともありました。過去に子どもの言動で傷ついたこともあり、その時の話は涙なしでは話せませんが、先輩職員の寮長・寮母に助言をいただきながら、子どもの成長を感じた際は、やりがいを感じましたし、改めて素敵な仕事だと思いました。

**Q 印象に残ったことや嬉しかったことはありますか？**

- 子どもたちは毎日確実に成長していて、色々な場面でその成長を感じられるので印象に残った出来事は本当にたくさんありますが、その中でも卒業式の直前に寮内で3年生を送る会をした際に、その年の3年生が私のことを「家族以外で初めて信頼できる大人です」と言ってくれたことは心から嬉しく、本当にこの仕事をしてよかったと思いました。

**Q この仕事の魅力・やりがいはなんですか？**

- 毎日一緒に過ごしていると、日常の中では子どもたちの成長を感じにくい部分もありますが、保護者の方や他の先生方から子どもたちの成長した部分を知ると、日々の関わりが報われ、やりがいを感ぜられる瞬間です。
- 24時間ずっと一緒に、プライベートもないように感じられる働き方は、もしかすると時代には合っていないと感じられるかもしれませんが、「育て直し」とも言われる仕事なので、継続的に関わらないと深い関係づくりは難しいと思います。そういう意味で家族ぐるみの生活は、子どもたちにとって一番いい環境だと思います。
- 現在担当している子どもたちや過去に担当していた退院生が、今後何かのきっかけで修徳学院を思い出した時に帰って来られるように、一つの居場所であり続けられることはこの仕事の誇りでもあり、今後も長くこの仕事を続けていきたいと強く思う理由の一つになっています。

**Q プライベートとの両立やリフレッシュはどのようにしていますか？**

- 仕事とプライベートの両立が難しいと思われがちですが、変則的ですが、4週間で8日分の休みもあるので、プライベートの時間もしっかりととることができます。通勤の時間がない分ギリギリまで私宅で休めますし、夫婦一緒に休めるところも大きいです。
- 他の寮長や寮母の方とも交流があり、顔を合わせると話をすると話をリフレッシュをします。内容は子どもたちの話から我が子の話まで。情報交換も含めて、共有しお互いを支えています。

**受験される方に  
ひとこと**

人の人生を大きく変える仕事なので、覚悟はいるかもしれませんが、ただ飛び込んでしまえばやりがいや楽しさを感じない、素敵な仕事です。子どもたちと共に、自分自身も大きく成長できる職場でもあります。実際に見てみたいとわからない魅力もあるので、関心があればぜひ一度施設見学や研修に参加してほしいと思います。「子どもたちのために」という思いを持って、一緒に子どもたちの支援に携われる日を楽しみに待っています！



# 経験を積み重ねて成長する

～キャリアリード～

# Career Lead

大阪府福祉部では、福祉全般に関する幅広い知見・経験の習得と高度な専門性の獲得を両面で見据え、福祉専門職のキャリア形成をリードします。積極的かつ計画的、そして多様性に配慮した配属を行い、社会福祉を取り巻く様々な課題解決を行う人材を養成します。



## モデル1 豊かな実戦経験 多方面の知識・経験を持つジェネラリスト

「相談系」「施設系」などの職場や、「児童福祉」「障がい者福祉」「女性福祉」などの福祉分野を3～4年ごとに経験することで、福祉専門職としての幅広い経験を積み、総合的な見識を得ることができます。その後、個人の適性等を考慮しつつ、より専門性の高いキャリア形成をはかります。



## モデル2 重層的な学び 特定分野について、深い知識と優れた技術を持つスペシャリスト

様々な社会環境の変化により、福祉を取り巻く課題は多岐に渡り、そして複雑化しています。その中で、早期に各福祉分野の高度な専門性を身につけるプロフェッショナルの人材育成にも取り組んでいます。ひとつの分野に対し、より深い理解と専門性を身につけることを目的に、同一の分野に配属されることもあります。早期段階から専門性の深化を意識したキャリア形成を支援します。



※児童福祉分野の専門性の早期獲得を目的にしたキャリア形成の一例

大阪府福祉専門職の活躍の場は多岐に渡り、幅広い知識と経験や高度な専門性が求められます。

支援形態	福祉分野	職場一例
施策立案	福祉全般	本庁
相談支援	児童福祉	子ども家庭センター
	障がい者福祉	障がい者自立相談支援センター
	女性福祉	女性相談センター
	生活保護	子ども家庭センター
生活支援(施設等)	精神保健福祉	保健所
	児童福祉	子どもライフサポートセンター
	障がい者福祉	砂川厚生福祉センター

## 昇任制度

昇任は勤務成績等を考慮した能力主義で行われます。

技師級

主査級

課長補佐級

課長級

次長級

部長級

主査級以降のキャリア形成・専門基盤の育成

専門性に基づく援助技術の実践、後進育成

施策企画・実施者、臨床専門・育成指導職へ

## キャリアパス紹介

# 大阪府での経験を活かし、国から福祉を支えます。

### 社会福祉職

43歳 男性  
 (入庁年度)平成15年  
 (現在の所属)こども家庭庁支援局家庭福祉課児童福祉専門官

令和6年4月から施行される改正児童福祉法の施行に向け準備しています。児童福祉施設として新たに位置づけられる里親支援センター等の施行作業をしています。また、特別養子縁組や里親制度について、国として普及啓発を行うなど、子どもの最善の利益・健全な育ちのために取り組んでいます。



H15 砂川厚生福祉センター 更生第一課

H18 本庁 健康福祉総務課 予算グループ

H19 砂川厚生福祉センター 企画調整課

H24 本庁 障がい福祉室 障がい福祉企画課

H26 子ども家庭センター 地域相談課 (主査に昇任)  
 (H28 子ども家庭センター 相談対応課)

H29 子どもライフサポートセンター 自立支援課

R2 本庁 福祉総務課 総務・人事グループ

R4 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課(派遣)  
 児童福祉専門官(課長補佐に昇任)  
 (R5 こども家庭庁支援局家庭福祉課に組織が変更)

### めざしている人へメッセージ

大阪府の福祉専門職は、障がい・児童・女性保護・生活福祉等、様々な分野で対人援助の現場を経験しながら、制度や施策の企画・立案に関わる機会もあり、培った専門職の知見をより広めることができると感じています。学生時代にはできれば、旅行やスポーツなど、ぜひいろいろなことにチャレンジしてください。福祉以外の経験も価値観を広げ、クライアントの背景を理解することにつながります。これから入庁される皆さんと成長できることを楽しみにしています。

卒業後配属されたのは自分自身が予測していなかった分野でした。経験不足もあり不安ばかりでしたが、同じ専門職の先輩からの手厚いサポートで、3年を乗り切ることができました。施設という対人援助職の現場や、行っている支援から様々なことを学びました。

最初の異動は組織再編の関係で、1年間だけ本庁に配属されました。予算の取りまとめを行う部署で、初めて配属された部署とは全く違う仕事内容でした。以前に配属された砂川厚生福祉センターの施設の運営や予算などの管理も任せられ、地方自治体のお金の流れや、制度の仕組みなどを知ることができました。社会福祉職であると同時に、「大阪府の職員」「地方自治体の職員」ということを強く意識した瞬間でもありました。

障がい福祉企画課は障がい福祉制度全般の運営を行っている部署です。市町村に対して適切な制度の運用を促し、実際に運営ができていないかの指導監査も行います。市町村の支援する施設には、配属先だった砂川厚生福祉センターの利用者さんもいらっしゃるの、その人たちの思い浮かべながら業務に取り組みました。実際に現場を知っていたからこそ、どのような制度が必要なのかを理解できたので、前の配属先での経験が大いに役に立ちました。

配属された時期に障がい福祉制度の大きな改正があり、その障がい支援区分の施行担当をしました。利用者の方々の障がいの状態や置かれている状況を実感を持って伝えられたり、自分の意見はもちろんです、他から出てきた現場での実感・経験を実際に反映していくのは、現場で働く福祉専門職だからこそ経験だと思います。また、国と市町村の間の調整に入り、広域自治体の役割について強く意識するようになりました。

昇任したことによって立場的には主査となりましたが、児童分野は初めての職場、児童相談所も初めてだったので仕事は周りの人の方が知っている(1年生)の状態でした。チームのリーダー的立場でまとめないといけないという思いはありつつ、みんなの意見・やってきたことを尊重しながら仕事をしました。仕事をまとめながらも、教えてもらうという姿勢は変わらず取り組みました。

昇任して初めて大阪府を離れて別の組織に派遣されることになりました。今までは専門職の集団の中、同じ価値観の中で働いていましたが、内部の職員だけでなく国会や外部団体の関係者等の意見も踏まえ働く大変さがありました。また、今までは「大阪府」でしたが、立ち位置が変わり「国」として考えるため、最初は戸惑いもありました。その中でも特に苦労したことは、福祉の専門職の現場では、共通用語として使っている言葉が通じなかったり、話をするときの正確性や、イメージに食い違いがあったことです。現場とのギャップを感じた瞬間でもありました。しかし現場にいたからこそ、実際の福祉の実情を、リアルな意見として伝えられたことは非常によかったと思います。大阪府という全国でも大きな規模の自治体が、国や市町村との関係における課題も伝えることができました。本庁での勤務の経験を活かし、どのように制度を施行すれば自治体として困らないか、やりやすいのかを考えました。本庁勤務がなかったら、全然違った考えに至ったんだろうなと思っています。大阪府に戻ったら、国での経験を活かし、大阪府の福祉施策に貢献したいです。

## 職場の雰囲気教えてください。

- N** 皆さん優しいです。  
1年目でわからないことだらけで、聞いて大丈夫なのかというような些細なことでも丁寧に教えてくださるのでなんでも言いやすい環境です。誰にでも聞くんですが、一番はジョブトレーナーのJさんに聞きます。
- J** ずっと付きっきりで一緒に動いていたしね。  
一番話しやすいポジションの人みたいだね(笑)
- N** 本当にずっと一緒に…。面接とか訪問と一緒にいたり、調査する時も不安な時は横で聞いてもらったり。他の細かい、出張や時間外の入力の仕方でも。
- J** 訪問に行く時車の中では、今回の面接こんな感じで行こか、みたいな打ち合わせしつつ。帰りの話題もその時の振り返りをしながら帰るね。結構違う話もしてるけど。
- S** Nさんの同期は何人くらいいるん?
- N** 相談対応第一課には1人、二課には3人、センターの中だと10人くらいいます。
- S** センターの中に7課あるから、全体の職員数だと100人以上いるけど、それだけ同期がいると心強いね。
- N** そうですね! 同じフロアの同期とはよく飲みに行きます!
- J** 新採(1年目)さん同士ってどんなこと話すん?
- S** 仕事の愚痴とか?(笑)
- N** いや、私はそんなに仕事の話はしないんですけど…。  
困ってる状況になっている子の相談とかは結構聞きます。
- S** 仕事でなんかあったらその場で言ってるもんね。うまくいかないこととか、私も結構聞いてもらってるし。
- J** 嫌になって思ったことこそ、すぐにみんなで共有しますよね! みんなで飲みに行ったときは仕事以外の話をして、モヤモヤは職場の中だけでって感じですね。
- N** 前の飲み会では上司の皆さんがしてくれたおもしろ話しか覚えてないです(笑)

## 1年目から見た先輩職員と先輩方から見た1年目職員はどんな感じですか?

- N** Sさんはほんと、理想の上司! って感じで。  
聞いたら丁寧に教えてくれるし、聞いたことだけでなく経過とか理由とか納得できる答えをくれるし、安心感しかない!  
Jさんはとにかく褒めてくれる! ちょっとしたことで絶対に褒めて下さるからのびのび成長してます!
- S** 褒めて育てるっていいよね、自信にもつながるし。怒られると萎縮しちゃうしね。JさんはNさんのことどう思ってる?
- J** 優秀。褒めることしかないですね。仕事への向き合い方とか、学ぼうとする姿勢とか意欲が高くて、細かいことでもすごい聞いてくれるからやりやすいし、それはNさんのいいところ。
- S** 毎年新規採用の方が入ってくる時、動きや指導を考えたりする中で、それぞれのいいところや課題点を見たりするんだけど。  
Nさんはすごく優秀で、礼儀作法とかのベースがしっかりしてるし、とにかく素直。子どもに対する話し方も丁寧で。そこにおさるのではなくて、色んなことを聞いて吸収して、細かいことでも確認を怠らないので、まだまだ伸びていく、素晴らしい人材だなと。



先輩職員からの  
スーパービジョンで、  
1年目でも安心して  
支援ができます!

対談  
インタビュー

### 社会福祉職

**現在の所属** 子ども家庭センター 相談対応第一課

**仕事内容** インテークチームに所属しているので、センターに入る全ての相談や通告を受け、調査を行い方針を決める等初期対応をしています。連絡は主に警察や近隣の方からが多く、通りすがりの方からの連絡もあります。保護者や子どもと面接を行い、助言や指導を行っています。

## 1年目の職員と2人の先輩にお話を聞きました!

**Nさん** 25歳  
(入庁年度) 令和5年(現在1年目)

大学卒業後はアパレルの仕事をしていましたが、コロナ禍で店舗が減り、将来を考えて手に職を持ちたいと考えました。大学では心理学を専攻していたことと、人の話を聞くことが好きで、一緒に考えて導けるような仕事に就きたいと思ったので、専門学校へ通い、大阪府の社会福祉職を受験しました。

**Jさん** 35歳  
(入庁年度) 平成25年 (役職) 主査

平成25年 子ども家庭センター 生活福祉課  
令和3年 子ども家庭センター 相談対応課  
(令和3年7月～ 子ども家庭センター 育成支援課)  
令和4年 子ども家庭センター 相談対応課  
いろんな人の話を聞くことが好きだったので、困っていたり悩んでいたりする人達の話聞き一緒に考え導けるような仕事に就きたいと考えていました。大学で福祉を専攻して発達や障がいについて学び、その学びを活かして仕事をしたいと考え、大阪府の社会福祉職を受験しました。

**Sさん** 40歳  
(入庁年度) 平成19年 (役職) 総括主査

平成19年 子ども家庭センター 地域相談課 平成24年 子ども家庭センター 虐待対応課  
平成28年 子ども家庭センター 相談対応課  
人の心に興味があったので、学生時代は心理学を専攻していました。そのなかで人を形づくる要素は、生い立ちや成長過程、親子関係や周囲の環境など様々あることを知りました。福祉という視点であればその要素に少しでも作用できるのではないかと考え、志望しました。

Nさんの  
ジョブトレーナーを  
しています

### ジョブトレーナー制度

新規採用職員へのサポート制度です。採用後約1年間、先輩職員が「ジョブトレーナー」として実務面のサポートを行います。様々な不安に応じて良き相談相手になり、新規採用職員の不安を解消するので、安心して仕事に取組めます。

NさんのSVや  
チーム全体の  
統括をしています

### 受験される方にひとこと

本当にたくさんのことを学べて、経験できる職場だと思います。難しいことやわからないこともたくさんありますが、必ずチームで支援するので、1人にされることはなく、常に周りの方が助けてくれる温かい職場です。来年度皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

### 受験される方にひとこと

元々うまく伝えるのが得意な方ではなかったのですが、やっていくうちに、説明したり質問したりが日常的にあるので、日々の積み重ねでできるようになりました。不安はあると思いますが、仕事は始めたら少しずつできるようになるので安心して下さい。人と話すのが嫌いじゃなければ大丈夫です。一緒に頑張りましょう。

### 受験される方にひとこと

福祉専門職とくと、高度な専門性を求められているのではと尻込みするかもしれませんが、大丈夫です。私は一切何も知らずに飛び込みました。それでもなんと働き続けられているので、知識や専門性は働きながらでも獲得できることだと思いますし、それは入庁後に一緒に考えますし教えます。必要なのは頭でっかちな知識ではなく、目の前の人に真摯に向き合う気持ちと力だと思うので、人が好きなら、いろんな人と出会いたい知りたいという好奇心旺盛な方、ぜひお待ちしております。

## 先輩たちの1年目はどんな感じでしたか?

- S** 年度途中の採用だったので、新規採用の集合研修もなかったし、ジョブトレーナー制度もない時代で、各課に総括も1人だったから。周りは忙しそうだったけど今みたいに気軽に聞けるような環境ではなかったよ。
- N** すごい、大変だったんですね…。
- S** 上司や周りの人たちにも事情があったと思うけど、そういう経験があるから、新しく入ってくる人たちにはできる限り無理のないようフォローしたいと思ってるよ。
- N** Jさんもジョブトレーナー制度はなかったんですか?
- J** 困っている時に相談できる先輩はいたよ。  
私は生活保護のケースワーカーとして入ったから少し動きが違って。配属されて出勤したら、机がメモだらけで。メモを見ながらとにかく一つずつ作業してましたね。基本は一人でやって、先輩を見ながら仕事を覚えて、どうしても支援が難しいケースはついてきてもらってたかな。
- N** 今って1年目の職員に優しい環境になってるんですね。

## 成長を感じられたこと・職場に支えられたエピソードはありますか?

- N** 初めて一時保護になる子どものところに行かせてもらった時は、衝撃でした。虐待って本当にあるんだと改めて実感しました。
- J** 最初はみんなそう感じるかも。困ったこととかはあった?
- N** 面接は毎回困ってます! でも、面接前のある程度方向性を一緒に考えてくださるので、だいぶ慣れてはきました。それでも思うように行かないことが多いので、サポートに入ってくれてる時は安心してます。
- S** 困った時はどうしてるの?
- J** 流れを確認して、2人で面接に入って、Nさんに挑戦してもらおうですけど、思ったよりもまずいなって感じたらすぐに代わります。私も何かあれば、次長やSさんにすぐに聞いているので、気負わずNさんと業務ができています。
- N** 何かあったら絶対助けて下さる安心感があるので、Jさんがどうしても近くにいられない時は、他の先輩の方に聞いたり、アイコンタクトをとったり…。フォローされることがまだまだ多いのががんばります! お二人は長く続けられているんですけど、入庁当時と変わったことありますか?
- S** 人と関わる仕事だし、私自身私生活でも結婚とか子育てで環境も変わるから、それで当事者の見え方が変わってくることはあるよね。子どもがいない頃と比べると見え方が変わったこともあるし、その立場になってみるとわからないことの方が多いと思う。あとは、仕事の受け止め方とか、成長して考え方も変わっていくかな。
- J** 入ったばかりのころは不安だらけで、何をすればいいかわからなかったから、周りを見て、真似して、毎日こなすので精一杯やったけど。その経験値とか研修制度とかでも知識を増やしつつ、それが自分の自信になってるって感じてる。私自身もまだ発展途上やしね。これから変わることもあると思う。
- N** 本当に学べる職場ですよ。
- J** また大変な時はみんなでご飯いったりして息抜きしよう!
- S** みんなでがんばってこうね。